

科目名	企業倫理／経営と法律	単位数	2単位	学期	後期
担当教員	今井 裕紀		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-31-B-2-440014	経営情報学部A：健全な社会生活を営むための常識を持ち、他者と協力して問題解決にあたることができること			
授業の目的	本授業では、企業における倫理的問題を理解するための理論的視野を紹介します。また、企業のガバナンスの理論と制度、企業と社会における様々なステイクホルダーとの関係について紹介します。				
学修到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業倫理についての理論と制度を理解する</li> <li>・企業倫理についての理論と制度の理解に基づき、企業の経営課題について考察できる</li> </ul>				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	イントロダクション：企業倫理とは、授業の進め方・受講上の注意点、本講義の学習内容の概要
第2回	倫理問題の分析枠組み
第3回	倫理と社会：倫理の文化的多様性とその起源、社会的ジレンマ

第4回	倫理的意思決定
第5回	組織マネジメントと倫理(1) : 働くことと幸福、組織における不正な行動の種類
第6回	組織マネジメントと倫理(2) : 内部通報、集団規範と個人
第7回	組織マネジメントと倫理(3) : ダイバーシティ、ステレオタイプ、倫理的リーダーシップ
第8回	ガバナンス(1) : 取引費用理論
第9回	ガバナンス(2) : エージェンシー理論、その他の理論
第10回	ガバナンス(3) : 日本の経営
第11回	ガバナンス(4) : 企業不祥事とコーポレートガバナンス改革
第12回	企業の社会的責任
第13回	企業と環境、調達、消費者

第14回	企業と公共政策
第15回	まとめ
第16回	定期試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	配布資料を読んで内容について考える（2時間）
【復習】時間・内容	配布資料と講義中の口頭説明事項をノートにとったもの等を読み返して理解し、講義内容に関連する企業の経営事例や制度を調べ考察する（2時間）。

成績評価	
評価基準・方法	授業態度・授業への参加度・小課題（30%）、レポート（10%）、定期試験（60%）
フィードバック方法	授業中に講評を行う。あるいはポータルサイトで講評を掲示する。

アクティブラーニング	
実施の有無	×
実施内容	
教科書/参考書	<p>教科書は使用しません。ポータルサイトで資料を配布します。</p> <p>参考書：J. E. ポストほか著/松野宏ほか監訳（2012）『企業と社会：企業戦略・公共政策・倫理（上）（下）』ミネルヴァ書房。</p> <p>江川雅子（2018）『現代コーポレートガバナンス：戦略・制度・市場』日本経済新聞出版社。</p> <p>M. H. ベイザーマン・A. E. テンブランセル/池村千秋訳（2013）『倫理の死角：なぜ人と企業は判断を誤るのか』NTT出版。</p>
受講上の留意点等	<p>講義内容は授業の進捗によって順番等が変わることがあります。</p>
JABEE	